

2022年度 教育懇談会開催のお知らせ

保護者会事務局

9月24日㊥ 13時より

会場

京都ノートルダム女子大学
ユージニア館他にて

詳細は、別紙の開催案内をご覧ください

▶就職講演会

「就活のカタチ2022」

講師：本学キャリアセンター
企業・人事担当者

▶学生による就活報告会

本学4年次生による就活体験談

▶個別相談会

成績・修学相談：担当/学科教員

学生生活相談：担当/学生課職員

就職相談：担当/キャリアセンター職員



毎年後期が始まる前に開催しております「教育懇談会」は、6月の総会に続き、対面開催の方向で準備を進めております。個別相談会を中心に、近年は会員の方々からのご要望もあってキャリア関係のイベントも組み込んでいます。今回のテーマでは、本学学生による就活体験談や、採用する側からの見方等、より就活現場に近いものになりますが、1～2年次生の人であっても必ず役に立つお話です。残念ながら6月のキャリア講演会にご参加できなかった、という方にもこの機会がチャンスです！お嬢様とご一緒に参加もOKです。ぜひとも多くの皆様にお申込みいただきたいと願っております。

修学相談は、学部・学科の教員が前期までの成績をもとに相談に応じます(但し、指導教員とは限りません)

その他、学生生活や就職活動についてのご相談にも応じます。ご息女のごことで気に懸けておられることがありましたら、この機会に何なりとご相談いただきたいと思います。

また、保護者会の役員も会場におりますのでお気軽にお声掛けください。同じ大学、同じ親としての立場、目線でお話しができれば嬉しく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

保護者会のホームページを ご覧になったことがありますか？

保護者会ではホームページでも情報発信しています。特にコロナ禍では対面開催が中止になる代わりに、学長、各学科から親御様へのメッセージ動画、講演会や学生の内定報告などをホームページ上で視聴できるようにするなど、工夫を重ねてまいりました。

その他、過去の保護者会通信や事業報告書等も閲覧できます。この保護者会通信は平成17年度に初めて発行された「後援会通信」から見ることで、本会の歴史やそれぞれの年度の役員様の想いなども垣間見え、なかなか興味深いものです。ぜひご利用ください。

保護者会へのご意見・お問合せはこちらまで

✉ hogoshakai@ml.notredame.ac.jp

TEL. 075-706-3700 FAX. 075-706-3707

保護者会事務局メール



保護者会
ホームページ

<https://www.notredame.ac.jp/hogoshakai/>

京都ノートルダム女子大学HOMEからは

訪問者別 → 保護者の方へ のページへ

ご意見・ご要望はじめ、行事や通信についてのご感想など、皆様からの積極的なお声をお待ちしております。



ボランティアスタッフの募集について

- ①準備10月15日(土) 13時～16時頃 値段付け・仕分け
- ②準備10月28日(金) 10時～12時頃 商品搬入・会場設営
- ③当日10月30日(日) 10時～16時頃 当日会場スタッフ

各日とも予定時間は前後することがあります

お申込みはメールまたはお電話でお願いします(別途案内をご覧ください)

■件名/ND祭バザー ボランティア

- 1. お名前
- 2. お嬢様の学部・学年
- 3. 上記①～③の希望日時(複数選択も大歓迎)

をお知らせください。事務局から折り返し詳細をご案内させていただきます。
お問合せ：京都ノートルダム女子大学保護者会事務局(担当/辻)



保護者会通信

2022年(令和4年)9月1日 NO.27



編集・発行

京都ノートルダム女子大学 保護者会事務局

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1 TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707 e-mail:hogoshakai@ml.notredame.ac.jp

2022年度京都ノートルダム女子大学保護者会役員・評議員ご紹介

会長	秋山 西大男	英文	4年
副会長	向井 生枝	福生デ	4年
〃	高取 久美子	英文	3年
監事	棕本 千鶴子	英文	4年
理事	佐本 智子	国日	3年
〃	茂中 幸代	福生デ	3年
〃	中田 啓之	心理	3年
〃	田野 桂子	英文	2年
〃	山本 悟	こども	2年
評議員	清水 ちはる	国日	4年
〃	田中 リカ	国日	4年
〃	吉村 明代	国日	4年
〃	白須賀 るみこ	福生デ	4年

評議員	安部 夏子	心理	4年
〃	下村 明子	こども	4年
〃	木村 紀子	福生デ	3年
〃	嶋村 純子	心理	3年
〃	杉岡 直美	心理	3年
〃	当瀬 アリサ	心理	3年
〃	野口 ゆみ子	英文	1年
〃	東原 美保	生環	1年
〃	吉森 淳子	心理	1年
〃	山本 由美子	心理	1年
〃	青山 香里	こども	1年
〃	木村 慈子	こども	1年
〃	本波 佳由	こども	1年

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



第1回評議員会(5月14日撮影)

会長挨拶



京都ノートルダム女子大学
保護者会

会長 秋山 西大男

保護者会会員の皆様におかれましては、平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2022年度、会長の職を拝命いたしました秋山西大男と申します。浅学菲才にてその器にはございませんが、今年度新しい役員、評議員の方々のお力を借りながら保護者会会員の皆様と大学の架け橋となりますよう、微力ながらも精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

保護者会はお嬢様方の大学生活がより有意義なものとなりますよう、大学の発展と教育目標達成に協力し、財政的にも支援し、また会員同士の親睦を図ることも目的として活動を行っております。が、昨年度と一昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大で大学は勿論のこと、保護者会の行事もそのほとんどが中止せざるをえない状況になってしまいました。しかし、今年度におきましては一時期より行動制限も緩和されてきて、少しでも活動の再開が出来るかと期待をしております。

ただ活動の再開と申しまして私達役員も会員の皆様と同様に、経験や体験もほとんど無い状態であるが為に、経験をお持ちの方々のお話や、過去の資料を参考にしながら活動の再開を進めてまいりたいと思っております。既に本年度は保護者会の主な行事である5月の第1回評議員会に続き、6月の保護者会総会を3年ぶりに開催し、たくさんの方の皆様に集まりいただきました。また同時に「京都ノートルダム女子大学の進路支援～今時の就活とは～」と題して本学キャリアセンター望月事務室長からのご講演、学科別懇談会、個別相談会をも開催することが出来ました。ご多忙の中お集まりいただきました皆様には、改めてお礼申し上げます。

これ以降も9月の教育懇談会、10月のND祭保護者会バザーなど、保護者会の行事を開催予定でございます。会員の皆様におかれましては、保護者会活動の趣旨をご理解いただき、今後ともご意見、ご提案、各種行事へのご参加をお願いするとともに、さらなるご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

学長挨拶



京都ノートルダム女子大学

学長 中村 久美

連日報道されるロシアの軍事侵攻の被害は目を覆うばかりで、それを見守る世界も、食料やエネルギーの供給危機等、生活や経済の安全保障を脅かす深刻な問題を突きつけられて

います。本学院では、軍事侵攻への非難とウクライナへの連帯のメッセージを理事長名で発信するとともに、学生の発案で、カトリック教育センターの指導のもと、ウクライナ支援の募金活動を3月より行っています。保護者会の皆さまの中にもご協力いただいた方は多いと思います。どうもありがとうございました。

2022年度前期はごく一部をのぞき、対面形式を基本に授業を行っています。建物入口での手指の消毒は、行わないまま素通りする学生が増えてはきましたが、キャンパス内はマスク着用とし、教室の換気や密集の回避は厳格に守りながら、授業においては日常がほぼ戻ってきました。

一方、正課授業外の活動は、まだまだこれからといわざるをえません。クラブ活動は緊急事態や蔓延防止特別措置などの期間があけても、本学が定める行動警戒区分のレベル2「企画書に感染防止対策を記載し、許可された場合実施」が続いたこともあって、近年学生課の指導で活発化しつつあった活動が、いっぺんに萎んでしまった感があります。

現在、正課授業外活動をまた盛り上げようと、学生課から学生に様々な呼びかけをしています。本年12月にはカトリック女子大学のスポーツ大会が、3年ぶりに聖心女子大学で開催される予定で、その参加募集を行っています。10月の学園祭は、クラブの発表や作品展示、バザーなど、コロナ前のプログラムを復活するべく、実施に向けて説明会を開催しています。

新型コロナウイルス感染の動向を、まだまだ気にかけてなければならない日が続きます。すっかり定着した対策をなおも続けながら、正課授業外の様々な活動にも日常が戻り、多くの学生が今まで以上に充実したキャンパスライフを自分でつくっているよう、教職員一同、見守り、支援していきたいと思ひます。保護者会の皆様には、今後とも学生の支援と大学の取り組みへのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2022年度 保護者会総会を開催しました

保護者会事務局

コロナ禍以来、実に3年ぶりの対面開催を実施。当日は多くの皆様にお越しいただきました。特に現在3年次生の親御様からは「入学式もなかったため初めて娘の通う大学に来ることができた」といったお声もあり、行事を通じて会員様同士や教職員との交流にもお役に立てる保護者会であることを喜ばしく感じております。また、皆様のご協力のおかげをもちまして、第1部総会をはじめ第Ⅳ部まで盛会に終わりました事を報告するとともに、あらためて御礼申し上げます。

2023年4月「保護者会」から「ND育友会」へ

このたびの成人年齢18歳改正に伴い、保護者の定義が変わることによって、本会の「保護者会」という名称を変更することになりました。昨年度から理事会・評議員会で協議を重ねた結果、新名称「ND育友会」を総会にてご承認いただきました。今年度中は変更手続き等準備を整え、来年4月1日からは新名称「**京都ノートルダム女子大学ND育友会**」としてReスタートします！今後ともよろしくお願い申し上げます。

2022年度 保護者会による主な支援事業

保護者会では学生たちが充実した大学生活を過ごせるように、様々な支援を行っています。

施設助成・設備助成…学内屋外施設整備維持費 学生関連施設整備維持費
図書館学生用書籍 保健室AEDパッド 等
課外教育・学生行事…各クラブ活動補助 クラブ定期活動補助 ND祭補助
新入生対象学生行事 クリスマスイルミネーション補助 等
学生支援助成………学研災保険 就職ガイドブック(3年生) 日経BP検索サービス
学生相談室ワークショップ 図書館ひざ掛けクリーニング 等
卒業記念品 ………卒業記念リング(学部生) 修了記念品(大学院生)

ソフィア館ロビー改装が完成しました

去る4月9日、昨年度の学生支援として実施した、生活環境学科・竹原先生のゼミ生考案、ソフィア館ロビー改装の完成レセプションが行われました。赤と白を基調にしたデザインで明るく生まれ変わったロビーで、会長はじめ、理事会役員が参加しました。中村学長から感謝状の贈呈を受け、担当した学生も一緒に工夫した点などを説明してくれました。(保護者会より1,475,424円を支援しました)

6月12日(日)13時より：本学ソフィア館にて
審議の結果すべての議案について承認されたことを報告します

【第Ⅰ部 総会】

- ・2022年度新役員紹介
- ・2021年度事業報告
- ・2021年度収支決算案
- ・2022年度事業計画案
- ・2022年度収支予算案
- ・「保護者会」名称変更及び会則改正案について

【第Ⅱ部 キャリア講演会】

右ページ開催報告をご覧ください

【第Ⅲ部 学科別懇談会】

教員による学科ごとの懇談会を行いました

【第Ⅳ部 個別相談会】

各ご相談に教員・職員が個別対応しました



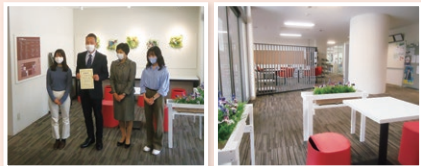
【保護者会特別援助奨学金】

修学の熱意があるにもかかわらず家計急変のため経済的に学業の継続が困難になった学生に、保護者会から学費の一部として上限20万円を給付します。家計の急変事由が発生した月から6ヶ月以内に申請書類を学生課へ提出してください。学内選考委員会で選考します。(令和3年度給付実績：2名)

【その他／100円募金】

京都市の姉妹都市であるウクライナキーウ市への支援について、平和を希求するカトリック系大学の保護者等団体としても何か力に出来ないかということで、会費からお一人様につき100円をご寄付いただき、戦禍の中の市民生活や避難民を最前線で支援しているカリタスへの支援とさせていただきます。本学カトリック教育センターの学生グループ・エンジェルスの会がこの春に実施しておりますカリタスジャパン®への「ウクライナ人道支援募金」を通じて実施させていただきます。

【ウクライナにおけるカリタスの支援活動の詳細 <https://www.caritas.jp/>】

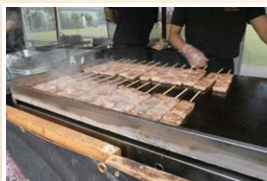


クラブ活動報告

学生課

学生交流イベント

「チャレンジキッチンカー ～食べられるか食べられないかはあなた次第～」 を開催しました！



6月15日(水)に新入生歓迎とクラブ生の交流を目的とした、総クラブ会主催「チャレンジキッチンカー～食べられるか食べられないかはあなた次第～」というイベントを企画しました。イベント当日は朝からあいにくの雨でしたが、奇跡的にイベント開始時には雨があがっていました。キッチンカーで提供される「牛カルビ串」「シャカシャカポテト」が食べられる引換券を目指して、地図に書かれたヒントを頼りに、学内に隠された謎をグループに分かれて解いてもらい、最後にデザート「スノーアイス」を賭けて全員参加型〇×クイズを中庭で実施しました。当日は200名近くの参加があり、大いに盛り上がりました。

コロナ禍でなかなか対面でのイベント交流ができない状況が続き、学内が閑散としていた時期もありましたが、今回のイベントを実施できたことで新入生をはじめ学生の皆さんに楽しみながら、交流を深めてもらう良いきっかけになったのではないかと思います。今回は、保護者会助成金および日本学生支援機構による「新型コロナウイルス感染症対策助成金」の補助を受けることができたおかげで、このようなイベントができ、クラブの活性化や学生同士のコミュニケーションを図ることにつながったと大変感謝しております。

今後ともご支援よろしく願いいたします。

キャリア講演会開催報告／保護者会総会第Ⅱ部：6月12日(日)

保護者会事務局

京都ノートルダム女子大学の進路支援 ～今時の就活とは～

講師：望月 章平(キャリアセンター事務室長)



本学キャリアセンターによるキャリア講演会は、過去の行事でも必ずプログラムに入れており、聴かねば損！というくらい好評をいただいているイベントです。大学に入れば約4年後には卒業という出口があるわけですが、コロナ以降3年あまり、世の中が大きく変化したことで、

卒業後の進路とそれに伴う就活に関して、心配しておられる親御様も多いのではないのでしょうか。そこで本学キャリアセンター望月事務室長から、5つのテーマに沿って1年次生から現在就活中の学生まで、それぞれの学年での指導やアドバイス等について説明していただきました。簡単ではありますが、お話の中での主なポイントをご紹介します。

①イマドキの就活

当世就活事情 コロナ禍における就活も3シーズン目、当初は企業も学生も大学も手探りの状況ではあったものの、現在では制約はありながら、ほぼ対応はできています。むしろ今の心配はロシアのウクライナ侵攻に伴う経済停滞と、極端な円安。これらが2024年卒の就活にどう響くのかを注視しています。

親世代の疑問 就活の時期は国が示す指針と実態が乖離しています。インターンシップの利用も重要です。

就活中の方へ 現時点で内定の無い方は是非キャリアセンターに相談してください！新卒応援ハローワーク等と連携して支援しています。

②3年次生へのアドバイス

動くのは学生 5月からガイダンスはスタートしています。夏休みのインターンシップを始めバーチャルリクルート等、大学で準備してい

る様々な支援企画をご利用下さい。いずれも学生本人からの申し込みが必要ですので、積極的に行働するようアドバイスをお願いします。

③低年次生へのアドバイス

考えるのは自分 肩書ではなく「何ができるようになったのか」「何故それをしようと思ったのか」が大切です。レポート作成は文章力、ゼミ発表は面接力、資料調べは分析力、先生やスタッフとの会話はコミュニケーション力、質問力につながります。要は大学生活の充実が肝心です。また「家族間でも挨拶と笑顔ができていますか?」、スマホの普及により電話マナーに苦手感を持つ人が増えている等、普段の生活力も大切です。

心掛ける事 1・2年次生からキャリアセンター・ND教育センターを利用して下さい！教員なのか、公務員・企業なのか、1・2年次で大きな方向性の選択は必要です。「やりたいことがわからない」という人こそ、インターンシップや教育ボランティア等を利用して、働くことのリアルを体験してください。

④将来の為に考えておくべき事

資格取得 「この資格があるから＝採用」ではなく「最終的にこの能力を使ってどんな仕事ができるのか」が問われます。「何故その資格を取得しようと思ったのか」という目的も大切で、親に言われたから、友達がとってるから、何となくでは意味がありません。1・2年次から自らの目標に応じて計画的に取ることが大切です。キャリアセンターに資料がありますので相談にお越しください。

⑤おわりに

親に出来ること リモート面接に利用できる部屋は大学でも準備していますが、数に限りがあります。出来る限りご自宅のWi-Fi環境を整えてあげて欲しいと思います。進学も就職もゴールではなく、長い人生の通過点。否定やダメ出しではなく、受容してあげてください。



キャリアセンターだより

卒業生・企業アンケート から見えてきたもの

京都ノートルダム女子大学
キャリアセンター長

鷺見 朗子



まずは2022年3月に卒業した58期生の就職決定率が、昨年度の95.3%を2.1ポイント上回る97.4%を達成いたしましたことをご報告いたします。58期生はコロナの影響を受け、厳しい結果になることも想定されましたが、学生一人一人が最後まで諦めずに努力してくれた結果だと思っています。

2024年3月卒業予定の3年次生についても、5月から就活はスタートしています。コロナによる影響は企業側も既に想定済みであり、説明会・面接はオンラインと対面を織り交ぜながら実施するパターンが定着しつつあります。

企業側の採用意欲はアフターコロナを見据えた景気回復に対応するため、向上きつつありますが、現時点ではコロナよりもロシアのウクライナ侵攻に伴う経済停滞と急激な円安が、日本経済に水を差さないか気になるところです。

さて、本学では毎年卒業する学生を対象に、本学の就職活動支援の改善と在学生の支援に役立てるため、アンケートを実施しています。その結果、ガイダンスやイベントの参加は57.9%、個人面談は62%の

学生が利用しており、就活を終えた時期は4月～9月までで58%、その後12月までに81%の学生が就活を終えていたことがわかりました。「就活中に苦戦したこと」は自己分析・面接・提出書類作成でした。「在学中にやってよかったこと」はアルバイト・学業・資格取得を挙げる一方で、「在学中にやっておけばよかったこと(後悔)」については、資格取得・早期からの就活・ボランティア等課外活動を挙げています。自由記述のコメントからも、履歴書、エントリーシートを書く際にアルバイト経験が大いに役立ったが、自己分析や資格取得などもっと早くから就活に取り組んでおけば良かったという後悔があったことが窺えました。そして最終進路に対する満足度は、大変満足37.4%、やや満足35.3%の計72.7%となっており、多くの学生が満足度の高い進路選択をした結果となりました。

あわせて、学生が就職した企業に対しても、採用側の視点から学生を評価するアンケートを依頼しています。今年も2021年4月に採用いただいた企業を対象に調査を行い、「自らの成長のために主体的に学び、取り組む姿勢」「未知の事柄に対して理解しようとする姿勢」「相手の意見を丁寧に聴く力」等の項目で高い評価をいただきました。さらに本学学生に対する総合満足度も「満足」「やや満足」を含めると78.2%の企業から高い満足度を得たところです。

これら学生や企業から寄せられたご意見・要望に耳を傾け、参考にしながら、今後のキャリア教育や進路支援体制のさらなる向上と充実に努めたい所存ですので、ご家族の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。